

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名 キンダーガーデンやまと

ソキウスコンサルティング株式会社

## 第三者評価結果

### 事業所基本事項

フリガナ	シャカイフクシホウジン シンコウカイ キンダーガーデンヤマト
事業所名 (正式名称を記載)	社会福祉法人 新考会 キンダーガーデンやまと
事業所住所	神奈川県大和市中心6-1-5
最寄駅	小田急線 相鉄線 大和駅
事業所電話番号	046-200-5810
事業所FAX番号	046-200-5811
事業所代表者名	施設長 鈴木 恵子
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 新考会 法人代表者名 理事長 湯浅 陸夫
URL	<a href="http://www.shinkou-kai.jp/">http://www.shinkou-kai.jp/</a>
問合せ対応時間	7:00 ~ 20:00

### 事業所の概要1

開設年月日	平成26年
定員数	75名
都市計画上の用途地域	
建物構造	鉄筋コンクリート造
面積	敷地面積 ( 298.49 ) m <sup>2</sup> 延床面積 ( ) m <sup>2</sup>

### 事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	20名
うち、次の職種に 該当する職員数	施設長 ( 1名) 保育士 ( 16名) 保健師・看護師 ( 名) 栄養士 ( 1名) その他 (調理員 2名 事務員等 名 用務員 名)

### 事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	0歳 ~ 5歳	
延長保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
休日保育の実施	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	備考:
一時保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:
障害児保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	備考:

### 保育方針

地域の保育に欠ける乳幼児を受託保育し、乳幼児の一人一人の人格の健全育成を日々の保育を通じて培い、人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心情を育てることを保育目標として最低基準を遵守し、地域からも信頼される保育園づくりをする。

## 第三者評価結果

### 1.総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

#### <優れている点>

- 1 保護者との信頼関係を築き家庭とのコミュニケーションを大切にした取り組みをしています。

保護者との連絡帳を使い子育ての不安や悩みなど相談しやすい話し方や接し方を丁寧に行っています。

登園時の子どもと保護者の様子から園からの声かけなど、さりげなく話しやすい声掛けに努めています。

年3回のクラスだより、毎月の園だよりを配布して常に保護者への情報提供に努めています。

声をかけやすい雰囲気づくりのため話し方、聞き方に留意し、保護者の気持ちが落ち着かない時には園から声をかけ話をするようにしています。

早め早めの情報提供と発達について入園時の丁寧な対応で保護者からの相談や個別面談は、継続的に実施しています。日頃から話し方や、声をかけやすい雰囲気を大切にしています。

保護者の申し出により特に配慮の必要な子どもについては早めに専門機関と連携し、早期療育支援を取り入れ、保護者の不安を取り除けるよう、丁寧な取り組みをしています。

- 2 子どもの豊かな心を育む保育に取り組んでいます。

保育目標に「人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心を育てる」ことを掲げています。

外国籍の子どもには特別扱いすることなく子ども同士のかかわりを大切にしています。障害のある子どもには視覚的な教材を使用したり、仲の良い子どもや異年齢の子どもと一緒に行動することで安心して過ごせるようにしています。

音楽会や陶芸教室など行事の中にも創造性豊かな心を育てる保育に取り組んでいます。

#### <独自に工夫している点>

- 1 地域との交流を大切にした取り組みをしています。

園庭がないため、近隣の公園に散歩に出かけると他の園と一緒にすることが多いこともあり地域の他園との交流も積極的に行っています。

高齢者施設への訪問を通して世代間交流をし、お年寄りと一緒に遊戯と歌の発表会を毎年実施しています。高齢者とのふれあいの中で時には高齢者が涙を流す方がいたり感動的な場面があります。交流を通じて高齢者に対する親しみや、いたわりの気持ちが育まれています。

2 地域と一緒に防犯対策に力を入れた取り組みをしています。

近隣の公園に散歩に出かける時は、地域の他の園と一緒にすることが多く子どもたちがどこの園の子どもなのか分からなくならないよう、帽子の色が合わないようにし、他園の子どもたちと区別ができるよう工夫しています。散歩に出かける時に戻る時間は何時になるのかを必ず確認するように徹底しています。毎月、地域の掃除を全職員で実施し、地域と一緒に園の安全に力を入れています。

<改善すべき事項>

1 災害発生時の地域支援体制については、今後より一層の取り組みを期待されます。

災害発生時に地域との連携は現在、自治会長と子どもを中心とした高齢者も含めた拠点となるよう取り組み中ですが、今後は災害時のマニュアルの整備、地域との避難訓練など積極的に実施することが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>① 乳幼児の一人一人の人格の健全育成を日々の保育を通じて培い、人の気持ちの分かる優しい心、頑張れる強い意思、創造性豊かな心情を育てることを保育指針に掲げています。接し方のマニュアルを整備し、日々のやりとりは、話し方に注意し、職員研修でも話し合っています。</li><li>② 外国籍の子どもに対し、文化の違いなどを認め合い、保育者が中心になり子ども同士が交流を持てるようにしています。アレルギーなどの食に関する特別な配慮が必要な子どもに対してはアレルギー対応マニュアルを整備し、個別指導や診断表を作成し、きめ細かく対応しています。</li><li>③ 各関係機関と連携しています。登園時の様子を丁寧に観察し、園から声をかけられるようにしています。早期発見を心がけ、登園時の様子などから保護者に対して園から声をかけるようにしています。</li><li>④ 個人情報保護規程を整備し、入園時に保護者に説明しています。写真撮影やSNSを含むインターネット上の公開など無断で第三者に提供しないように入園時に説明をしています。</li></ul>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"><li>① マニュアルを整備し、入園時に保護者に説明しマニュアルを保護者に渡しています。毎日の出来事は全クラスに連絡帳を使って日々家庭とのやりとりができるようにしています。年2回の保育参観、園だより、クラスだより、個別面談など家庭との連携を図っています。</li><li>② 入園時に保護者からの意向をききとり、日々の保育に反映しています。日々の連絡帳からの意向も大切にし、園から声をかけるように努めています。保護者からの意向は全職員に周知し話し合い、てん末について保護者へ報告しています。</li><li>③ 0.1歳児を合同保育することで、クラスにとらわれず、より細かな成長に合わせたグループでの保育ができています。縦割り保育を通して、お手伝いをしたり、お手伝いをしてもらったりする中で、お互いを大切に思う気持ちを育めるようにしています。</li></ul>

		<p>④ 足元からの健康増進にはだし保育を取り入れ、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による全体の成長を促すようにしています。園庭はありませんが、近隣の公園に散歩に出かけています。園内の温度・湿度など室内環境マニュアルを整備し、快適に過ごせるようにしています。</p> <p>⑤ 外部に講師を依頼して大和市出前サッカー教室を実施し子どもの運動能力の向上と身体を動かすことの楽しさを味わってもらっています。英語レッスンを定期的に行い日本語だけではなく、英語のやりとりを楽しめるようにしています。</p> <p>⑥ 地域の高齢者施設へ訪問し、お遊戯、歌の発表会を実施しています。子どもとお年寄りとは握手をしプレゼントを渡し、楽しくて感動的な一時を一緒に過ごしています。 消防車や警察署に年に一度見学しに行きます。警察署では、パトカーに乗せてもらったり、消防署では消防車に乗せてもらったりしています。市内の他園4園との交流もしています。</p> <p>⑦ 栄養士による食育講座を年に1回開催し、食への関心が高まるようにしています。畑はありませんが、プランターで稲や野菜を育て、収穫までの体験をし、みんなで食べることで自分から食べる意欲を育てています。ジャンボ恵方巻きをみんなで作ることも食の楽しみとなっています。</p> <p>⑧ 特別に配慮が必要な子どもについては、保護者の意向を踏まえ、必要に応じて専門機関と連携するようにしています。園全体で話し合い、より良い発達に繋がるように努めています。保護者が相談しやすいような雰囲気づくりを大切にしています。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>① 苦情に関しては、マニュアルを整備し実施しています。入園時に苦情の受付から解決までを保護者に説明をしています。職員全員で周知し、話し合いを行っています。 第三者委員会を設置し、外部から分かりやすいように公示しています。第三者委員会との定期的な話し合いが行われませんので、今後は定期的な話し合いが出来るように努めてください。</p> <p>② 室内の温度湿度、遊具の点検、おもちゃや布団の消毒の管理など安全衛生マニュアルを整備し実施しています。 職員による点検を実施し、清掃は1日3回の点検表を使い定期的にチェックすることで園の安全衛生に努めています。</p> <p>③ 健康管理に関するマニュアルを整備し実施しています。 入園時に園での投薬やケガ、感染症についての説明を保護者に対して丁寧に説明をしています。 園での投薬は、かかりつけ医からの投薬票の提出をしてもらっています。 体調不良時には病児保育への紹介もしています。</p> <p>④ 緊急対応マニュアルを整備し、避難訓練、不審者侵入訓練を行っています。不審者侵入訓練は、不審者役を職員が演じ、具体的な方法で訓練をしています。 入園時の説明の中に、建物が崩れるような災害があった場合は、第一避難場所のメモを残していくことも伝えています。</p>

4	地位との交流・連携	<p>① 地域の子育て家庭への支援については、事業計画に記載しています。月に1回の園見学のあと個別相談を実施しています。園での行事を地域の子育て家庭へ招待をし、子育てに関することがいつでも相談できるように配慮しています。</p> <p>② 地域の子育て支援として親子陶芸教室、音楽会、ベビーサイン、給食試食会、マタニティヨガ、ベビーヨガを実施し年間を通じて様々な行事を開催し地域への開放に努めています。</p> <p>③ 開園当時は、近隣から保護者の車の止め方について、言われることがあり、登園時に園以外の駐車場に保護者が車を停めないように職員全員で迎えるようにしています。今では、近隣から声をかけてくれるようになり、園の近隣を職員で掃除をしています。地域との関係を大切にしています。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>① 日々の出来事は毎日の打ち合わせで全職員で周知し、保護者からの意向など検証し保育の質の向上に向け日々改善するように勤めています。</p> <p>② 自己評価は毎年全職員で実施し、まとめています。自己評価の結果を保育に反映し、質の向上に取り組んでいます。</p> <p>③ 園の情報提供は、玄関にパンフレット等を掲示しています。園の機関紙は、自治会等、地域の方にも配布し、地域の理解が得られるように努めています。法人全体のホームページがあり、他園の情報提供にも努めています。</p> <p>④ 保育参加については年間行事計画とともに保護者に配布しています。年2回保育参観を実施し、個別面談については随時実施しています。給食試食会は年1回実施しています。</p>
6	職員の資質向上促進	<p>① 理念研修を外部の研修機関を使って実施し、全職員に浸透するように年間複数回実施しています。職員心得等は職員更衣室にも貼り、唱和し、常に心がけています。</p> <p>② 年間の研修計画を立てて専門性の向上に努めています。魅力ある施設づくりと必要とされる人財育成に取り組んでいます。新人職員には、社会人としての挨拶やマナーなど接遇研修から取り組んでいます。</p> <p>③ 実習生受け入れに関してマニュアルが整備され実施しています。実習生受け入れ時に担当者からオリエンテーションを実施し、子どもへの接し方や個人情報、守秘義務について丁寧に説明し理解をしてもらってから受け入れています。</p>

## 2.評価項目に基づく評価の結果

### 大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に沿って、調査を行った結果です

大項目1全体を通してのサービスの達成状況 (調査確認事項全80事項)	100%
---------------------------------------	------

#### 大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重 (8事項)	① 子どもや保護者に対する態度や言葉遣い(3事項)	3/3	8/8
		② 出生や国籍、性差などによる差別の禁止(3事項)	3/3	
		③ 虐待予防や早期発見のための関係機構との連携(2事項)	2/2	
2	プライバシー確保 (7事項)	① プライバシー確保への配慮(3事項)	3/3	7/7
		② 実習生などへのプライバシー確保(3事項)	3/3	
		③ 個人情報保護の体制整備(1事項)	1/1	
3	家庭と保育園との 信頼関係の確立 (6事項)	① 家庭との連絡、情報交換の体制(2事項)	2/2	6/6
		② 家庭の意向・希望の把握(2事項)	2/2	
		③ 意向・希望の記録・管理(2事項)	2/2	
4	苦情解決システム (8事項)	① 苦情解決の担当者・責任者の公示(2事項)	2/2	8/8
		② 苦情解決の記録(2事項)	2/2	
		③ 第三者委員会の設置、実施(3事項)	3/3	
		④ 理事会への報告(1事項)	1/1	
5	環境整備 (8事項)	① 温度や湿度等の管理(2事項)	2/2	8/8
		② 洗剤等の危険物の管理(2事項)	2/2	
		③ おもちゃ、遊具等の管理(2事項)	3/3	
		④ 遊具などの安全保持(2事項)	1/1	
6	健康管理(感染症対策 ・救急救命を含む) (14事項)	① 体調不良児、けがへの対応(2事項)	2/2	14/14
		② 体調不良児への対応(2事項)	2/2	
		③ けがなどへの対応(2事項)	2/2	
		④ 感染症予防への情報提供(3事項)	3/3	
		⑤ 感染症発症時の対応(2事項)	2/2	
		⑥ 救急事態発生時の医療機関・家庭等との連携(3事項)	3/3	
7	危機管理(防災・防犯) (8事項)	① 火災や震災等の対応(3事項)	3/3	8/8
		② 日常の防災・防犯体制の整備(2事項)	2/2	
		③ 災害発生時の地域支援体制(3事項)	3/3	
8	地域子育ての支援 (6事項)	① 地域内の子育てニーズの把握と支援(6事項)	6/6	6/6
9	自己評価と情報開示 (6事項)	① 自己点検・改善活動の実施(2事項)	2/2	6/6
		② 地域への情報提供、情報公開(2事項)	2/2	
		③ 見学や保育参観の機会の設定(2事項)	2/2	
10	職員研修 (9事項)	① 理念などの職員への研修実施(3事項)	3/3	9/9
		② 年間を通しての研修計画(2事項)	2/2	
		③ 外部研修の共有化(2事項)	2/2	
		④ 実習生の受入れ、指導(2事項)	2/2	

80/80

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(1) 子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 0.1歳児を合同保育にすることで、クラスにとらわれず、より細かな成長に合わせたグループで保育が出来ている。</p> <p>② はだし保育を取り入れることで、土踏まずの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促している。</p> <p>③ 児童票などの個人記録をつけている。</p>	<p>① 0.1歳児（本年度は生後8か月から）の子どもを合同保育をすることにより、より多くの保育士が、成長度合いによって分けた小グループを見て、発達に応じた保育をしています。</p> <p>② はだし保育を取り入れ、子どもたちは成長を促され、足の裏からの温度や感触などの刺激を感じて楽しんでいます。体調などの理由から、保護者からの希望により靴下をはかせたり、臨機応変に対応しています。また靴が汚れていたら洗うようにして、常に清潔に保つようになっています。</p> <p>③ 児童票などの個人記録を、平均して乳児は週1回以上、幼児は月に2回程度つけています。ならし保育の時期は毎日記録しています。</p>
<p>(2) 子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるようするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 制作をした時など、みんなの作品を発表することで、色々な作品があることを知り、みんな違って良いことをその都度、伝えている。</p> <p>② 縦割り保育を通して、お手伝いしたり、お手伝いしてもらったりする中で、互いを大切に思う気持ちを育む。</p> <p>③ 食物栽培や昆虫の飼育等を通して、命の大切さを学ぶ。</p>	<p>① 子どもたちは制作したものをみんなの前で見せながら、説明などの発表をして、他の子どもはその作品について質問をしたりします。そうすることで自分の作ったものとの違いや良い所を感じられるように保育士は話しています。</p> <p>② 行事などの時に年間を通して2歳から5歳児の縦割りの4-5人の小さなグループを作り、年長児が年少児の子どもたちのお手伝いをしたりしています。このグループの行動により、他者との違いを認識し、お互いを大切にすることを育てるようになっています。</p> <p>③ 保育士は遊びや活動の中での子どもの声を大切にしています。新しいこと、今までと違う意見や発想も大切にしています。</p>



## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(3) 子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 老人ホームへの訪問。</p> <p>② 園外への積極的な散歩による、地域の人との交流（挨拶など）。</p> <p>③ 消防署や警察署への見学。</p>	<p>① 老人ホームへ訪問して、歌を歌ったり話をして、お年寄りの方が楽しんでもらっていることに喜びを感じています。</p> <p>② 園外へ散歩に行き、地域の方と挨拶を交わしたり、老人会や近隣の他の保育園との合同の運動会に参加して、いろいろな多くの方と関わることを楽しんでいます。</p> <p>③ 近くの消防署や警察署に見学に行き、いろいろな職業の大人の方と関わり、多くの情報を得たり、積極的に質問をするなどして、会話を楽しんでいます。</p>
<p>(4) 生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 年間を通して、定期的に主活動の中で、縦割り保育を取り入れることで、異年齢での言葉のやり取りを楽しめるようにしている。</p> <p>② お店屋さんごっこを通して、言葉のやり取りを楽しんでいる。</p> <p>③ 英語レッスンによって、日本語だけではなく、英語のやりとりも楽しめるようにしている。</p>	<p>① 縦割り保育を実施することによって保育目標でもある「優しい心」が育まれるように取り組んでいます。</p> <p>② お店屋さんごっこを通して、お店屋さんの役とお客さんの役になる子どもの会話の違いなど、子ども同士の会話のやりとりを楽しんでいる。</p> <p>③ 言葉のやりとりの中にも英語をとりいれて会話を楽しんでいます。</p>
<p>(5) 生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取</p>	<p>① 各クラス毎に行っている体験発表会により、人前で話をするこ と人に思いを伝えることを楽し んでいる。</p> <p>② 絵本の読み聞かせにより、想 像力をふくらませ、物語を聞 くことを楽しんでいる。</p>	<p>① 月曜の朝の会で土日の時の様子を、みんなの前で話してもらいます。他の子どもは話を聞いて感想や意見を言ってもらっています。</p> <p>② 保育士は絵本の読み聞かせを多く行い、読み終わった後に子どもたちから感想や意見を自由に言うてもらおうようにしています。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>り組みをしていますか</p>	<p>③ 幼児クラスでの日々の当番活動。</p>	<p>③ 幼児クラスでは、当番の子ども2-3人が前に出て、皆に大きな声で挨拶をしたり、保育士の代わりに話をしたりしています。</p>
<p>(6) 生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためのどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 4,5歳児が年間を通して、保育の中でピアノを使用し、楽器を演奏することを楽しんでいる。</p> <p>② 体操や遊戯をすることで、他児と協力して表現したりすることを楽しんでいる。</p> <p>③ 縁日ごっこ等のごっこ遊びを通して、いろいろな人になりきることを楽しんでいる。</p>	<p>① 年長児は保育の中でピアノを演奏することを楽しんでいます。年に1回ホールを借りて発表会をしています。</p> <p>② 乳児クラスは朝のおやつの前に、幼児クラスは3歳児～5歳児の合同で、ともに毎日体操を楽しんでいます。</p> <p>③ 縁日ごっこやいろいろなごっこ遊びの機会を作り、お店屋さんの役やお客さんの役を交互に変えて、その役になりきって楽しんでいます。</p>
<p>(7) 生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① お楽しみ会での劇や歌を通して、他児と一緒に物語を作っていく楽しみを味わう。</p> <p>② 運動会の遊戯では、異年齢で表現する事を楽しんでいる。</p> <p>③ 作品展での共同制作など、協力して一つの物が出来上がる喜びを感じる。</p>	<p>① お楽しみ会の内容については、何をやりたいかこどもの意見で決めており、振り付けなども子どもたちに考えてもらっています。</p> <p>② 運動会の遊戯を異年齢で表現し、練習の段階で子どもたちの発想を大事に取り入れています。</p> <p>③ 作品展は3歳児～5歳児が共同制作します。上の方や難しい所は年長児が、下の方の簡単な所は3歳児が担当して、楽しそうにお話をしながら進めています。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(8) 生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 外部に依頼してのサッカー教室による運動能力の向上と体を動かす事の楽しさを味わう。</p> <p>② 英語レッスンによって、日本語だけではなく、英語のやりとりも楽しめるようにしている。</p> <p>③ 絵本の読み聞かせや個人絵本を自分で読むことで、関心や興味を持ったり、想像力を育む。</p>	<p>① 外部からサッカー教室の講師を呼んで、思い切り体を動かしてサッカーを楽しんでいます。</p> <p>② 英語のレッスンをゲームなどで楽しみながら受けています。</p> <p>③ 絵本の読み聞かせを多く取り入れ、本の内容を読むだけでなく、日頃の遊びに結び付けたり、子どもたちの興味や関心を引き出すように働きかけています。 行事の時には保育士が一人では持てない位の大型絵本を使って、子どもたちに読み聞かせています。</p>
<p>(9) 生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 幼虫からカブト虫を育て、その成長過程を観察している。</p> <p>② 公園などで、採取してきた虫を飼育し、その生態などを観察して興味を持つ。</p> <p>③ 食物栽培（イネ・トマトなど）などを通して、食に対する興味を持てるようにする。</p>	<p>① カブト虫を幼虫の時期から飼育し、その様子を子どもたちが観察して記録しています。</p> <p>② 近くのふれあいの森に行き、いろいろな虫を捕まえて持ち帰り、みんなで観察して、絵を描いたりしています。</p> <p>③ 保育園の中で、イネやトマトなどを育て、成長を楽しみにして、子どもたちの興味を持たせています。</p>

## 大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(10)</p> <p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 栄養士による月1回の食育講座。</p> <p>② ジャンボ恵方巻などのクッキング。</p> <p>③ 食物栽培（イネ・トマトなど）などを通して、食に対する興味を持てるようにする。</p>	<p>① 月に1回、おやつ後の時間に、栄養士が子どもたちに食材の絵本を読んだり、クイズをしたり、噛むことの大切さを話したりします。</p> <p>② 栄養士の指導の下、子どもたちが全員で7メートルのジャンボ恵方巻を作って、それをみんなで食べます。</p> <p>③ 保育園で作った食材を子どもたちが収穫し、それを給食に使ってもらうようにして、子どもたちに給食を楽しみにするように働きかけます。</p>
<p>(11)</p> <p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 衣服の着脱・食事・排泄など生活に必要な活動を自分ですることで、喜びを感じ、次のステップへ進んでいる。</p> <p>② 午睡時間をきちんと確保し、睡眠をとること、休息をすることが大事であることを伝える。</p> <p>③ 朝や夕方の支度を保育者と共に自分ですることで、基本的習慣を身につける。</p>	<p>① 衣服の着脱や食事、排泄など、各自がどこまでできるかを保育士同士が把握して共有し、それぞれの子どもたちの成長の度合いによる発達につなげています。</p> <p>② 午睡時間をきちんととるようにしています。 眠れない子は目をつむって休むようにしたり、場合によっては寝ている子の邪魔をしないように、離れたところで静かに本を読んだりしています。</p> <p>③ 朝や帰りの支度を、例えば自分のタオルを取り出すなど、0歳児でもできることは自分で行うようにして、できないところは保育士が手伝って、基本的な習慣を身につけるようにしています。</p>

### 大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>12-(1) 子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① はだし保育を取り入れることで、土踏ますの形成促進や、足の裏の刺激による体全体の成長を促している。</p> <p>② 園外散歩を通して、地域の人との交流や、体力の向上を進めている。</p> <p>③ 個人絵本を購入していただき、保育の中に取り組むことで、絵本に親しむこと・自分の物を大事にすることを育んでいる。</p>	<p>① 足からの健康増進のため、はだし保育を積極的に取り入れています。</p> <p>② 園の近隣に公園があるので、地域の他の保育園と一緒にすることが多いです。多いときには4園が一緒に交流に努めています。</p> <p>③ 保護者の負担はあるものの、子どもの年齢に応じた絵本を提供し、親子の関わりを大切に絵本への親しみを感じるよう取り組んでいます。</p>
<p>(2) 保育環境に特別な配慮を必要とする子ども（長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児）の保育に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 加配児に対して、職員を増やし、配慮している。</p> <p>② 長時間保育をする園児に対し、補食の提供（有料）をしている。</p> <p>③ 乳児保育のグループ分け。</p> <p>④ 外国籍児に対し、保育者が中心になりながら、そこから子ども同士交流を持てるようにしている。</p>	<p>① 色々な家庭の事情を考慮し、職員を増員することで、子育て家庭の事情を配慮できるように取り組んでいます。</p> <p>② 延長保育を利用する子どもに対しては、有料ですが、補食を提供しています。</p> <p>③ 乳児クラスは、グループ分けをすることによってきめ細かな保育をするようにしています。</p> <p>④ 外国籍の子どもに対しては、入園時に保護者の意向を取り入れながら、他の子どもたちと特別な扱いはせず、子ども同士の交流を大切にしています。</p>

### 大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>(3) 健康管理に特別な配慮を必要とする子ども（アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など）の保育に関する特徴的な取り組み（アレルギー食対応、個別食、離乳食など）について説明してください</p>	<p>① アレルギー除去食の提供（誤食の無いようにアレルギーの園児に提供する食器は通常の食器と分けている）。</p> <p>② 離乳食の個別対応（家庭主導で行い、食べた食材を随時聞いていき、その食材を提供するようにしていく）。</p> <p>③ アレルギー対応マニュアルに合わせ、個別指導表や診断表の作成をしている。</p>	<p>① アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、給食時に除去食または代替食を用意しています。またその食器は見分けがつくように絵が入っていて、蓋つきのものを使っています。さらに除去している食材が書いてあるカードが蓋の上に張られています。除去食を提供する子どものテーブルは他の子どもと離し、慣れた担任が近くに座って対応します。</p> <p>② アレルギー対応食を提供している子どもに新しい食材を与える時は、まずは家庭で試してもらい、その後給食でも注意しながら提供するようにしています。</p> <p>③ アレルギー対応マニュアルに基づき、個別の指導票や診断表を作成して、全職員がその情報を共有しています。</p>
<p>(4) 食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 栄養士による月1回の食育講座。</p> <p>② ジャンボ恵方巻などのクッキング。</p> <p>③ 外部の方も対象とした給食試食会（年1回）</p>	<p>① 給食委員会を設け、給食業務委託業者との連携をしながら食育講座を定期的の実施しています。</p> <p>② 恵方巻きのシーズンに大きな恵方巻きを子ども全員で調理し、みんなで楽しんで作り、楽しんで食するようにしています。</p> <p>③ 園での給食試食会は、年に1回開催していますが、試食会には地域の参加が出来るように積極的に取り組んでいます。</p>
<p>(5) 家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 0歳児は、乳児用ノートの活用。1～5歳児（卒園まで）個別連絡ノートの活用。毎日の様子等を保護者とやりとりすることで、連携をより密にしている。</p> <p>② 毎月の園便りの発行や年3回のクラスだよりの発行。</p>	<p>① 乳児に関しては、乳児用のノートを活用し、1歳から5歳までは連絡ノートを使うことで家庭との連携がすぐにとれる様に配慮しています。</p> <p>② 他園同様、年3回のクラスだよりの発行、毎月の園便りを配布し、園での様子が家庭に伝わるように情報提供に心がけています。</p>

### 大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事務所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
	③ 年1回のクラス説明会。	③ クラス懇談会は年1回の開催ですが、子育てに関する悩みについては、随時、個別に相談が受けられるようにしています。行事の合同開催については、保護者の意向を十分に汲み取るように努めてください。
(6) 地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください	① 親子陶芸・音楽会・ベビーサイン・給食試食会・マタニティーヨガ・ベビーヨガ	① 園での色々な行事は、子育て家庭にもお知らせして、園の開放に努め、相談があったときにはすぐに対応できるように行事であっても日頃から取り組んでいます。 音楽会は、子どもたちに生の演奏を聞いてもらいたいとの思いから、クラリネットなどの生演奏に親しんでもらえるようにしています。